

TEC

SPECIFICATION SHEET

型式 FR-10-30

浴槽水用オーバーフロー型 NEW! 遊離残留塩素計

測定範囲：0 ~ 2.0 mg/L
測定成分：遊離残留塩素

本器は主に浴槽水の遊離残留塩素を連続測定するコストパフォーマンスに優れたポーラログラフ式遊離残留塩素計です。

ビーズ研磨洗浄に加えて、外部操作による電気化学洗浄機能を搭載し電極の化学的汚れも防止できます。

また、浴槽水特有の水質に対応できるように最適なセッティングが施されておりますので浴槽水中のレジオネラ菌対策等に安定した測定、制御を可能にしております。



アプリケーション

浴槽水の遊離残留塩素測定・制御に 温泉水の遊離残留塩素測定・制御に

温泉水は泉質により測定可能なものと不可能なものがありますのでご相談ください。

特長

3電極式ポーラログラフ方式センサ採用のため、検水中の干渉物質や電導度の影響を受けにくく広範囲の検水に対応可能です。

フローセルは1.5~3L/minの検水を導入することにより、一定ヘッドで一定水流をセンサに与え機械的駆動部なしでビーズを動かす構造のシンプルな設計です。

電極構造、材質の改良等により従来に比較し、より検水の汚れに強く、遊離塩素を選択的に検出できます。

ユニークな2つの電極洗浄機構によりセンサの感度劣化を防止します。

- ・機械駆動部のないビーズ洗浄で電極表面を連続研磨洗浄します。
 - ・3通りの操作方法で実行できる電気化学洗浄機能により、電極表面の電気化学的汚染を洗浄できます。
- これらの洗浄機能により感度低下が起こりにくいいため保守頻度が低減します。

各種出力信号により濃度制御及び遠隔監視が可能です。

- ・濃度伝送信号(DC 4~20mA)、制御出力接点又は上下限警報接点出力により、塩素剤の自動注入制御や、遠隔での監視が可能です。

シンプルな構造で、簡単に操作ができ保守も容易です。

【注意事項】

本器は、屋内仕様機器ですので屋外や水がかかるような場所での使用はできません。

本器を正常に運転するためには、試運転時及び点検時にはゼロ点校正、スパン校正が必要です。

本器を正常に運転するためには、定期的な保守が必要となります。

本器の測定部に45以上の検水を流すことはできません。

残留塩素センサは消耗品ですので定期的な交換が必要となります。

標準仕様

[構成部品]	モニタ部、測定部一体型	
モニタ部	FR - 10	1台
フローセル	FC - 30A	1台
センサ	RE - 20B	1本
センサケーブル	CT4S - 003N	1本
標準付属品		1式

《 モニタ部 》

型式	FR - 10
測定成分	遊離残留塩素
測定原理	ポーラログラフ法
測定方式	ビーズ洗浄型微小貴金属3電極方式
有効測定範囲	0 ~ 2.0 mg/L (標準)
表示	デジタル2桁LCD表示 最小分解能: 0.1 mg/L
再現性	フルスケールの±5%+1ディジット以内(流量、pH、温度、電導度一定時)
応答時間	90%応答1分以内(検水調整槽出口から)
検水pH範囲	pH 6.0 ~ 8.0
電導度範囲	8 ~ 4500 mS/m (但し、海水やナトリウム塩化物泉は不可)
伝送出力	DC 4 ~ 20 mA 絶縁型 最大負荷抵抗 550
接点出力	上限、下限 各1a又はヒステリシス制御出力 1a(下限でON、上限でOFF) (上下限接点出力とヒステリシス制御出力は同時使用できません)
電源	AC 100V ±10% 50Hz / 60Hz
消費電力	約5VA
設置方法	50Aパイプまたは壁面取付式
外形寸法	420(H) × 125(W) × 85(D) mm (モニタ部、測定部一体型寸法 但し、突起部含まず)

《 フローセル 》

型式	FC - 30A
検水流量	1.5~3 L/min
構造	ビーズ噴流洗浄機構付オーバル型
接液材質	PVC, アルミ, シリコンゴム
検水入口	外径18mmホースニップル
検水出口	外径18mmホースニップル
耐圧	0.2 MPa (検水入口)
検水温度範囲	0 ~ 45 (凍結なきこと)

《 センサ 》

型式	RE - 20B
温度補償	サーミスタによる自動温度補償
設置方法	FC - 30型測定部に取付
センサ接続方法	コネクタによる脱着方式

《 センサケーブル 》

型式	CT4S - 003N
ケーブル長	約0.3m

《 制限事項 》

本器の使用に関しては、pHや電導度による適用範囲があるため、検水のpH及び電導度が仕様書の範囲内であることが必要です。本器で使用可能な対象塩素剤は、次亜塩素酸ナトリウム、塩素ガス、カルキ(次亜塩素酸カルシウム)、有機系イソシアヌール酸、電解装置により発生した塩素に適用できます。塩化物泉等の塩化物イオンが多量に含まれる検水では、センサ寿命が著しく短縮される恐れがありますので、あらかじめご相談下さい。

**** 仕様書、技術資料は下記までご請求ください ****

お問い合わせ先

TEC テクノエコー株式会社

〒358-0045 埼玉県入間市寺竹523-3

TEL 04-2937-1061 FAX 04-2936-5231

URL <http://www.technoecho.co.jp>

E-MAIL info@technoecho.co.jp

本記載事項は、機器改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2005.8.1